

導入事例

ミッター・オイ社

ミッター・オイ社はOpen iTを使用してITの可視化を実現し、Autodeskライセンスを50%削減しました

概要

- ミッター・オイ社は複数の企業買収を経て、ITの可視化を実現する必要がありました。
- 同社では何度もライセンス拒否が発生し、ライセンスを追加購入することはもはや持続可能なアプローチではありませんでした。
- ミッター・オイ社のITディレクターであるマルコ・ウッコラ氏はLicenseAnalyzer™ 2022を使用することで、ライセンス拒否の根源原因を突き止め、組織内の情報格差を解消しました。
- Open iT ライセンスモニター・ダッシュボードを使って、同社は必要に応じて運用を拡大・縮小するために必要なソリューションを見つけました。

事業概要

ミッター・オイ社はミッター・グループの子会社の一つで、フィンランドを拠点とし、建設業界へのコンサルティングを専門としています。30年以上の経験を持つ同社はこの分野のリーダー的存在で、設計から製造まで、お客様の一貫したプロセスをサポートする重要なデータを提供しています。

最近、同社は複数の企業買収を行い、さらに事業範囲を拡大し、競合他社に対して優位な立場に立つことができるようになりました。しかし、成長には痛みがつきものです。拡大に伴い、デジタル・トランスフォーメーションの必要性が増します。さらに、企業買収に伴う結果として、リソースの集約により、自社のIT資産全体を包括的に把握することの重要性が認識されるようになりました。

ITの可視化：デジタル・トランスフォーメーションに欠かせない要素

ミッター・オイ社のような地形情報を扱う企業にとって、企業のあらゆる意思決定は信頼できるデータに支えられていなければなりません。ミッター・オイ社のITディレクターであるマルコ・ウッコラ氏はこのことを念頭に置いて、同社のデジタル・トランスフォーメーションの取り組みをリードする役割を担っています。

同社では、3D Win、Sentinel、Autodeskなどの技術系ソフトウェアを使用して、お客様のニーズに応じています。ウッコラ氏は、IT資産が会社の成長を阻害せず、会社の目標を確実にサポートすることを望んでいました。

まず必要なのは、主要なアプリケーションへのアクセスを継続的に確保し、全社的な生産性を維持することでした。しかし、拒否されるケースが多く、その対策としてライセンスを追加購入し続けることは持続不可能であることに気づきました。彼は、ライセンス拒否の報告が増えている理由を明らかにしたいと考えました。しかし、組織のソフトウェアの使用状況を把握しなければ、ライセンスが効率的に使用されているかどうかを判断することはできません。

次に、ミッター・オイ社の最近の買収により、新たなサーバーとライセンスを環境に統合する必要性がありました。調達の変更を裏付けるためにどのライセンスを維持し、プールからいくつ減らすことができるのか、信頼できる情報源が必要でした。

この二つの目的を達成するためには、資産とその使用状況を可視化する必要性がありました。ソフトウェア・ライセンスの使用状況を把握し、新しい取り組みを導入するために必要なデータを収集できるソリューションを探す必要があったのです。

ソフトウェア・ライセンス管理：情報格差を解消する

ウッコラ氏は手軽で使いやすいソフトウェア・ライセンス管理ソリューションを探していました。様々なプロバイダーを検討した結果、同社は目標を達成するためにOpen iT®の力を借りることにしたのです。

ミッター・オイ社はLicenseAnalyzer™ 2022を購入し、最初の導入からわずか数ヶ月で、ウッコラ氏はライセンス拒否の根本原因を突き止め、エンドユーザーとの話し合いを通じて、変更に対する抵抗感をなくし、ソフトウェア投資を最適化することができました。

根本原因を突き止める

効率性の高い職場を目指すのに障壁となるものの一つは、ライセンスの拒否です。ミッター・オイ社はエンドユーザーから、ライセンス拒否がワークフローの妨げになっているため、ライセンスを追加する必要があるというフィードバックを受けていました。当初の想定では、利用可能なライセンスの供給が、現在のライセンス利用活動のレベルを満たしていないということでした。

しかし、ライセンスファイル内のサーバー行やホスト名の欠落によるライセンスマネージャーの問題や、クラウドモデルでの権限不足など、様々な要因でライセンス拒否が発生する可能性があります。

ミッター・オイ社の場合は、ライセンス取得の難しさはサーバーの不具合に起因していることが判明しました。Open iT ライセンスモニター・ダッシュボードを使用して、ウッコラ氏はライセンス拒否の実際の原因をリアルタイムで突き止めることができました。ソフトウェア・ライセンスの使用状況を可視化した結果、利用状況は、ライセンスの追加を必要とするレベルではありませんでした。それよりも、古くなったライセンスサーバーをすべてアップグレードする必要がありました。

変更に対する抵抗感を減らす

変化とは、成長のために不可欠なものであるにもかかわらず、通常は抵抗に直面するものです。エンドユーザーからの質問に答えるためにウッコラ氏は、論理的な根拠を示し、当初同社が必要と考えていたものと、実際のソフトウェア・ライセンス使用状況との食い違いを説明しなければなりませんでした。

最大同時使用数を示すレポートを使用することで、ミッター・オイ社はエンドユーザーがどのようにこれらのアプリケーションを使用しているかを伝えることができました。ライセンス数を

削減しても、業務に支障が出ないことを納得してもらいやすくなりました。例えば、3D Winは130本のライセンス数が必要だと思われていました。しかし、その使用状況を深く掘り下げてみたところ、データ分析の結果は、ピーク時の利用者数は30人に過ぎないことが判明しました。これらのライセンスを適正化することで、年間30,000~40,000ユーロ（日本円にして約450万円~580万円）の節約になる可能性があります。

さらに、彼はミッター・オイ社の従業員と話し合うことができました。Open iTソリューションの導入前は、エンドユーザーとのやり取りは、アクセス拒否によるクレームばかりでした。

しかし、合計経過時間のレポートを使用することで、特定のアプリケーションが絶対に必要だと主張するユーザーが、実際にはそのアプリケーションを過去にどのくらい使用していたかを明らかにすることができました。この情報を活用し、ウッコラ氏はライセンス拒否されることへの不安から特定のアプリケーションへのアクセス延長が必要だと感じているユーザーにアプローチすることができました。Open iTのレポートから得られた知見は、ウッコラ氏がユーザーの行動の変容を導くのに役立ったのです。

ソフトウェア投資を最適化する

すべての組織は、ソフトウェアへの投資を最大限活用することを目指しています。しかし、ほとんどのリーダーは、データを調べ上げる時間がありません。Open iT の ライセンスモニター・ダッシュボード を使ってウッコラ氏はリアルタイムおよび履歴のレポートに簡単にアクセスできるようになり、ユーザーの生産性に影響を与えず、ミッター・オイ社のAutodeskライセンスを最大50%削減することができました。

Open iTによって可視化が可能となり、2本のNovapointのライセンスを容易に管理できるようになりました。これらは非常に高価なもので、4人のユーザーで共有していました。少なくとも1つのライセンスが利用可能か、両方が使用中か、誰がライセンスを使用しているかをリアルタイムで簡単に確認でき、ユーザー間で使用スケジュールを調整することができました。このような情報が得られることで、企業買収により新規ユーザーが増えたことで現在のインベントリでは対応できなくなった場合、彼は自由にライセンスを追加で取得することもできました。

企業が事業拡大を進めるにつれ、組織内のソフトウェアの使用動向を簡単に記録できるソリューションの必要性がより高まっています。ミッター・オイ社はOpen iTにこのソリューションを見出しました。必要な時に業務の拡大や縮小を可能にするためです。

まとめ

ミッター・オイ社が始めたソフトウェア資産管理と最適化の取り組みは緒についたばかりですが、これまでのところ、その結果に非常に満足しています。

「ほとんどの問題を解消することができました。
ユーザーは通常、ライセンスにアクセスでき、
弊社はサーバーにあるライセンスの数も減らすことができます。」

マルコ・ウッコラ氏、ITディレクター
ミッター・オイ社

「もちろん、ライセンスの使用状況をモニタリングするために、
Open iTのようなソフトウェア資産管理ソリューションの利用をお勧めします。
不安定なライセンスサーバーの発見や、ライセンスの状態をリアルタイムで
確認することができます」

マルコ・ウッコラ氏、ITディレクター
ミッター・オイ社

誰が、何を、いつ、どこで、どのようにアプリケーションを使用しているかを把握することで、ウッコラ氏はミッター・オイ社のソフトウェア・ライセンス管理業務を見直すきっかけを作ることが出来ました。ソフトウェア・ライセンスの使用状況をより深く把握することで、ミッター・オイ社は節約の可能性がある分野を発見し、ソフトウェア資産の活用を最大化することができました。

Open iTについて

Open iTは、柔軟なソフトウェア使用状況の計測・管理ツールを提供し、顧客へ最良のITソリューションを提供しようとする企業のサービスの価値とビジネス実現性を大幅に向上させます。ハードウェアとソフトウェアの先進の使用状況レポートと最適化ソリューションを提供します。お客様は、Open iTのツールやサービスを利用して、ITコストの削減、パフォーマンスの向上、ビジネスプロセスの改善を実現されています。

Open iT ソフトウェアは、完全にカスタマイズ可能な使用状況レポート、ハードウェアとソフトウェアの使用状況に対するきめ細かいチャージバック、Windows、Unix、Linux プラットフォームにおける自動化された業界最先端のライセンス解放機能などを提供します。Open iTの計測および最適化ツールは、ソフトウェアおよびIT資産の管理者に、ライセンスマネージャーを使用していないアプリケーションやウェブアプリケーションに加えて、異なるライセンスマネージャー間での高度な使用状況の計測結果を提供します。

詳細情報

お客様の組織のニーズに最適なソフトウェアソリューションの一部または全部については、sales-jpn@openit.com まで電子メールでお問い合わせください。詳細については、弊社のWebサイト (<https://openit.com/ja/>) をご覧ください。

お客様からのフィードバックを歓迎し、support-jpn@openit.com を通じて技術的な質問にお答えします。



JAPAN

〒107-0052 東京都港区赤坂
二丁目23-1
アーキヒルズ・フロントタワー
InControl内
電話:080-9271-1046

AMERICAS

Two Park Ten Place
16300 Katy Freeway
Houston, TX 77094
Tel: +1 281 599 3400

EUROPE | AFRICA

Karoline Kristiansens v. 5
N-0661 Oslo,
Norway
Tel: +47 22 20 40 50

ASIA | MIDDLE EAST

Doña Aurora Blvd.,
Gulang-Gulang, Lucena City
4301 Philippines
Tel: +63 42 710 856